

## 2018 年度総会・講演会が成功裡に終了

日本クルーズ&フェリー学会の本年度の総会・講演会が、神戸海洋博物館ホールにおいて116名の参加のもと盛況に開催されました。

10時から梅田会長の開会挨拶があり、続いて赤井阪大教授の司会のもとパネルディスカッション「中国のクルーズマーケットの現状と将来」、「日本籍カジュアルクルーズ客船の実現に向けて」があり、さらに商船三井客船の山口社長の「天災発生時のクルーズ船の対応」と題する講演がありました。

午後のセッションの冒頭に、本学会の総会があり、2017年の活動報告、会計報告、2018年の予算案などが承認されました。

次に、長距離フェリー50周年記念として企画されたフェリーの部では、新日本海フェリーの佐々木氏による「長距離フェリー50年の歴史」と題した基調講演があり、続いて海事プレスの上野支局長の司会によるパネルディスカッション「長距離フェリーの振興」がありました。

三菱重工の口木氏からは「旅客船の避難シミュレーション」の解説がありました。

最後のセッションは、池田事務局長司会のパネルディスカッション「クルーズベイ大阪湾」が行われ、今後、大阪湾の港湾が一致団結してクルーズ振興にあたるための諸問題が議論されました。

18時にすべての講演が終了し、ポートタワーホテルで懇親会が開催され、62名が参加しました。

講演会の詳細は、次号の会誌に掲載の予定です。

会長挨拶



パネルディスカッション1  
クルーズマーケット





天災時のクルーズ船の対応



長距離フェリー50年の歴史



パネルディスカッション 2  
フェリー





旅客船の避難解析について



パネルディスカッション 3  
クルーズベイ大阪湾



会場からの発言





懇親会風景

